

## 《稲梓小学校》

- ・コロナが5類に移行したことに伴い、生活の制限もほぼなくなり、友達同士関わりながらのびのびと生活する姿が見られた。
- ・学習面でも、話し合いやグループ活動の場面が増え、協力して学び合い、高め合う姿が見られた。
- ・全体的に落ち着いて過ごしている。読書環境の充実や、授業におけるタブレット端末の活用も進んできた。
- ・稲刈りや鮎釣り、うなぎもじり体験など、地域の方々とかかわりをおして、故郷のすばらしさを実感する取組を進めることができた。

## 《稲生沢小学校》

- ・遠足、黒船交流、玉川交流、運動会、縦割り掃除等、様々な行事や活動をおして子どもたちの成長が見られた。
- ・とくに6年生は、運動会や縦割り掃除などをおして、リーダーとして活躍、成長する姿が見られた。
- ・遅刻気味の児童や不調を訴えて保健室へ来る児童も見られるが、一人ひとりと丁寧に接し、家庭との連携を密にすることで、不登校の未然防止につながっている。
- ・特別な支援を要する児童も少しずつ学習に参加できるようになるなど、各学年落ち着いて授業に向かう様子が見られるようになってきた。

## 《白浜小学校》

- ・児童の遅刻や欠席が少なく、元気に学校生活を送ることができた。
- ・コロナが5類に移行し、他学年との交流が自然と行われるようになった。行事や授業をコロナ禍同様に行うことができるようになり、学校に活気が戻ってきた。
- ・運動会等の行事をおして、6年生が下級生の手本となったり、面倒を見たりするなど、成長が見られた。
- ・熱中症、水の事故等への対策を丁寧に行っている。

## 《浜崎小学校》

- ・全体的に落ち着いており、どの学年の児童も明るく元気に過ごしていた。
- ・家庭的に不安のある子や特別な配慮を要する子もいたが、連絡を密にして対応を進めた。
- ・昨年度末の職員の異動が多かったが、スムーズにスタートし、順調に1学期の教育活動を進めることができた。

## 《下田小学校》

- ・感染症対策もだいぶ緩和され、日常が戻りつつある。1学期は感染の広がりも見られず、元気に過ごすことができた。これまで感染症対策により制限があった授業についても、ほぼ制限なく行うことができた。
- ・黒船交流会も久しぶりだったが盛大に行われ、子どもたちはとても楽しんでいった。
- ・授業等でのタブレット端末の活用が進み、子どもたちも活用に慣れてきている。
- ・各学級に学習面で支援を必要とする児童が多く、支援員に頼る部分も大きい。不登校やその他課題を抱えている児童も少なからずいる。

## 《大賀茂小学校》

- ・欠席0日の日が47日あり、子どもたちも落ち着いて過ごすことができた。学校生活において大きな事故、けがもなく、元気に過ごすことができた。
- ・子どもも教職員も落ち着いており、各種行事・諸活動についても協力して行うことができた。

- ・稲作活動(米作り)では、地域の方にご指導いただきながら、充実した体験をすることができた。

#### 《朝日小》

- ・落ち着いた学校生活を送ることができた。小さなトラブルはあったが、担任・生徒指導・養護教諭など連携して早めに対応し、短期間で解決することができた。
- ・新型コロナウイルス感染症も広がることなく、毎日元気に登校できた児童が多かった。
- ・コロナがおさまり、児童同士、地域との関わりについて制約を設けることなく、体験活動に取り組むことができた。

#### 《下田中学校》

- ・昨年度に引き続き、落ち着いて学校生活を送ることができている。生徒は授業や部活動に一生懸命取り組み、生徒と教職員との関係も良好である。
- ・職員は、生徒の姿と保護者や地域の期待に応えるため、前年度よりもよい教育活動を進めようと、前向きな姿勢で取り組んでいる。
- ・いじめ認知件数は何件かあるが、積極的な生徒指導・生徒理解の証と考え、丁寧な対応を心がけている。なかなか学校に出てくることができない生徒もいるが、不登校(特別室登校)からの復帰も見られる。
- ・保護者や地域の方々の理解もあり、地域で中学校を支えてくださっている実感がある。

#### 《下田認定こども園》

- ・新しい環境になれるのに年齢によって個人差はあるが、5月頃には安心して過ごせる場所になった。クラス担任等とも信頼関係ができ、いろいろな遊びを楽しむ姿が見られる。
- ・全体としてはコロナは落ち着いてきたが、後半、一部でコロナやヘルパンギーナ、RSウイルス、手足口病などが見られ、健康面での配慮・対応が続いた。
- ・保育参観、子育て支援センター交流も人数制限なしで行うことができた。今年度より、子育て支援事業や園庭開放を当園で行っている。

#### 《下田保育所》

- ・クラス間の交流ができるようになり、園児同士が交流するなど、ほほえましい姿が多く見られた。
- ・食育を研修課題とし、給食室の協力を得ながら、自園給食のよさを活かした活動に取り組んでいる。
- ・保育参観や外部講師を招いての行事等制限なく実施することができており、子どもたちにとっても有意義な活動になっている。
- ・津波や地震への避難行動の見直しや訓練を充実させている。

- 各校・園、新型コロナウイルスが5類に移行したことで、各種行事・諸活動をほぼ制限なく実施することができ、子どもたちが元気に過ごす姿が見られた。全体として落ち着いた学校・園生活を送ることができている。
- 黒船交流会や地域での活動など、下田市や自分たちがすむ地域ならではの活動に取り組む中で、地域の方にも協力していただきながら、有意義な体験をすることができた。
- 各校とも、授業等でのタブレット端末の活用が進んできた。
- 本年度コミュニティ・スクールが導入された下田中学校では、地域と連携した取組が具体的に進み、学校としても”地域に支えてもらっている”実感を得ている。
- 園でも活動の制約がほぼなくなり、交流等をとおして楽しく元気に過ごすことができている。その中で、園の実態に応じた健康・安全面への配慮を進めている。